

埼玉トヨペット Green Brave



2019 RACE REPORT

【#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC】

2019年8月3日(土)～8月4日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round5

FUJI GT 500MILE RACE

富士スピードウェイ (静岡県小山町)

■ ■ 初の予選 1 位からスタート。作戦も的中し 2 位表彰台 ■ ■

予選日の天候は晴。練習走行では脇阪選手と吉田選手が複数のタイヤを履き替えながら走行し、吉田選手が1分38秒141のトップタイムをマーク。順調な仕上がりを見せる。Q1を担当したのは脇阪選手。脇阪選手はタイヤを温めながら徐々にペースを上げ、6周目に1分38秒626をマーク。Q1突破圏内(16位以内)の13位につけるが、まだアタックを行っていないクルマもあり、油断はできない。脇阪選手は再度アタックを行い、8周目に1分38秒569をマーク。ボーダーラインぎりぎりの16位でQ2進出を果たした。30分後に行われたQ2では、吉田選手が4周目に練習走行のタイムを大幅に短縮する1分37秒320をマークし、トップに立つ。吉田選手は2回目のアタックでさらにタイムを短縮(1分37秒316)し、チーム初の予選1位(ポールポジション)を獲得した。Q1時に発生した電装系のトラブルを乗り越えての快挙達成。脇阪、吉田両選手はもちろん、スタッフ全員がとびきりの笑顔を見せた。

決勝日の天候は晴。酷暑の中での決勝となった。吉田選手はポールポジションから順当なスタートを決めトップで1コーナーへ。上位は非常に接近しており、吉田選手は3コーナー手前で#360 GT-R、10コーナーで#25 86に抜かれ、3位で1周目を終える。しかし、吉田選手のペースは上位2台より速く、19周目の1コーナーで#360 GT-R、34周目の10コーナーでは#25 86をオーバーテイク。トップの座を取り戻す。35周目に1回目のピットイン。脇阪選手に交代し、給油のみでピットアウトする。7位でコースに復帰した脇阪選手は、摩耗が進むタイヤと折り合いをつけながら好走。上位陣が1回目のピットインを終えた43周目にトップに立つ。65周目にGT500車両の単独クラッシュが発生。チームは素早く脇阪選手を呼び戻し、吉田選手に交代。さらに給油とタイヤ交換を行い、コースに送り出す。吉田選手の順位は6位。吉田選手は1分40秒台のハイペースで周回し、85周目にトップに返り咲く。しかし、3回目のピットインを目前に控えた98周目、GT300車両がコース上にストップ。2回目のSCが導入され、吉田選手は築いていたリードを失ってしまう。吉田選手は108周目に3回目のピットイン。脇阪選手に交代し、給油のみでピットアウトする。7位でコースに復帰した脇阪選手は126周目にトップに立つが、効率よく4回のピットインを終えた#87 ウラカンが実質的な先頭となる。脇阪選手は129周目に4回目のピットイン。吉田選手に交代し、給油を行うが、またもタイヤ無交換でピットアウトし、勝利への執念を見せる。そのかいあって、#87 ウラカンとの差を大きく縮めたが、3スティント目に突入したタイヤの摩耗は進んでおり、追い上げはここまで。吉田選手は最後まで危なげなく走り切り、2位でチェッカー。Green Braveのチーム力を大観衆にアピールした。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC

(脇阪薫一/吉田広樹)

決勝: 2位 (162周、4時間53分31秒074)

予選: 1位 (Q2:1分37秒316)

GT300 決勝結果

1位:T-DASH ランボルギーニ GT3(ランボルギーニ ウラカン GT3)	163周
2位:埼玉トヨペット Green Brave マーク X MC(トヨタ マーク X MC)	162周
3位:Modulo KENWOOD NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	162周
4位:UPGARAGE NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	162周
5位:マネバ ランボルギーニ GT3(ランボルギーニ ウラカン GT3)	162周
6位:ARTA NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	162周

天候:晴、路面:ドライ ※トップ6 まで(出走29台)



DRIVERS VOICE

苦手な富士でこれだけ勝ち負けに関わるレースができ、ちょっと運がなくて負けたというイメージなので十分。1位しか見てないですし、勝つためにこのチームにいるので、そういう意味ではすごく満足できる実戦テストになったと思います。大事なのは次のオートポリスやSUGOで大コケせず、絶対勝つというのを気持ちじゃなく、言動で進めていかないと。開幕戦の岡山で3位に入った時、チームはうわついていたけど、今日はそんなことないですし、勝てなかったから喜んでもいません。このチームは勝てると思います。吉田選手の週末は100点だったと思います。

(脇阪薫一選手)

チームがこの富士にクルマを合わせてきてくれ、自分たちが想像していたより、いいフリー走行と予選になり、レースでもその強さを出せていたのですが、それはチームがつくってきてくれたクルマありきですし、ブリヂストンタイヤがあつてのことだったので、チームとブリヂストンさんには本当に感謝しています。そして何よりも昨日、マシントラブルを抱えた状態で、薫一さんがQ1を突破してくれたというのが本当に大きい。Q2に行けなかったら、全然違うシナリオになっていたと思います。

(吉田広樹選手)



チームランキング GT300

1位	55	ARTA	50.5
2位	56	KONDO RACING	46
3位	87	JLOC	44
4位	11	GAINER	43
5位	96	K-tunes Racing	41
7位	52	埼玉トヨペット Green Brave	34.5

トップ5まで(26チーム中)



埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社

Total Advertising Agency
Assist one

株式会社アシスト・ワン

ALPINE
Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社

Coolens

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

ThreeBond

埼群スリーボンド株式会社

トヨタ部品埼玉共販

トヨタ部品埼玉共販株式会社

株式会社 **ハッピーライフ彩生**

株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

[次戦予告]

9月7日(土) ~ 8日(日)

オートポリス(大分県日田市)